

はじめよう！ ごみダイエット大作戦

今の三浦市のごみって
どんな状況なんだろう？
生ごみの水分が高いと
どうなるの？

ごみダイエット大作戦
フラ混入 No！
水切り徹底！
効果あったのかな？

「ごみダイエット
大作戦」って
何だろう？

これから私たち
がすべきことは
何だろう？

神奈川県 三浦市

『ごみダイエット大作戦』とは、

三浦市内から集められた『一般ごみ』については、環境センターで堆肥化处理をしていましたが、施設の老朽化や最終処分場の埋立容量が逼迫していたこと等の理由により、平成15年度末に稼働を休止し、県内の他自治体の協力を得ながら焼却処理してきました。

今後のごみ処理については、横須賀市と共同し、平成31年度の施設稼働に向けた、ごみ処理の広域化に取り組んでいます。

ごみ処理施設は環境衛生上、必要不可欠な施設である反面、周辺住民にとっては決して歓迎されるものではありません。そのような状況の中で、横須賀市の焼却施設がある地元町内会の皆様に、三浦市の窮状をご理解頂き、平成25年度から横須賀市で『一般ごみ』を焼却処理して頂くこととなりました。

但し、ここに至るまで厳しい道のりがありました。受入条件であった一般ごみへのプラスチック混入率5%以内、一般ごみ中に含まれる水分率50%を目標に掲げ、市民・事業者及び職員が一丸となり行動してきました。この行動指針が『ごみダイエット大作戦』です。

平成24年度には、21項目からなるアクションプログラムを策定し、啓発ポスターの掲示や駅前キャンペーンを行いました。平成25年4月には、このプログラムの改定を行い、一般ごみの排出量を前年度対比マイナス8%を目指した16項目からなるアクションプログラムを現在展開しております。

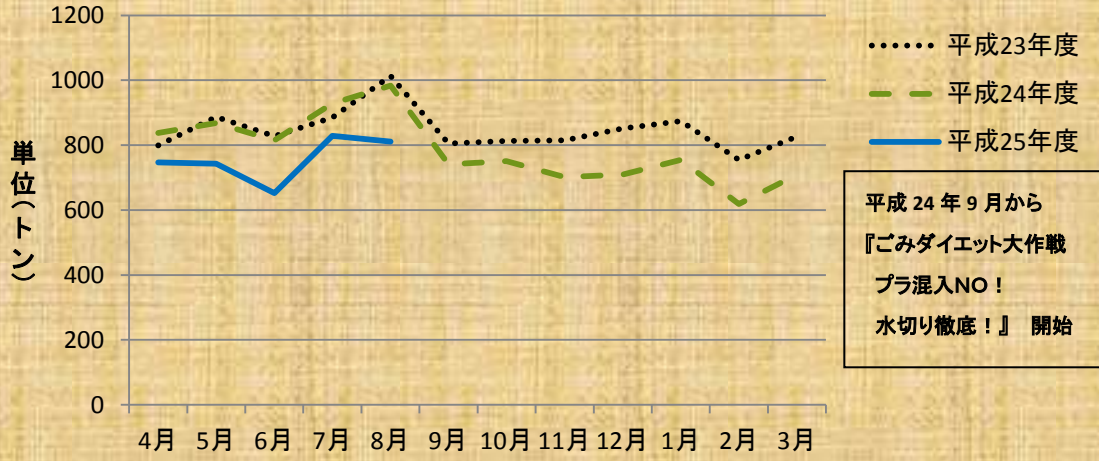
横須賀市での焼却によって『ごみダイエット大作戦』は終了したわけではなく、さらなるごみの減量化・資源化を目指す新たなスタートのときを迎えました。

このパンフレットもアクションプログラムの取り組み項目の一つとして作成したものであり、皆さんが毎日の生活の中で、『ごみダイエット大作戦』に取り組んでいただくための参考にしていただければと思っています。

**キャッチフレーズは、
「ごみダイエット大作戦 フラ混入NO！ 水切り徹底！」**

ごみダイエット大作戦 ～効果と課題～

平成23年4月から平成25年8月までの月ごとの一般ごみ量の推移



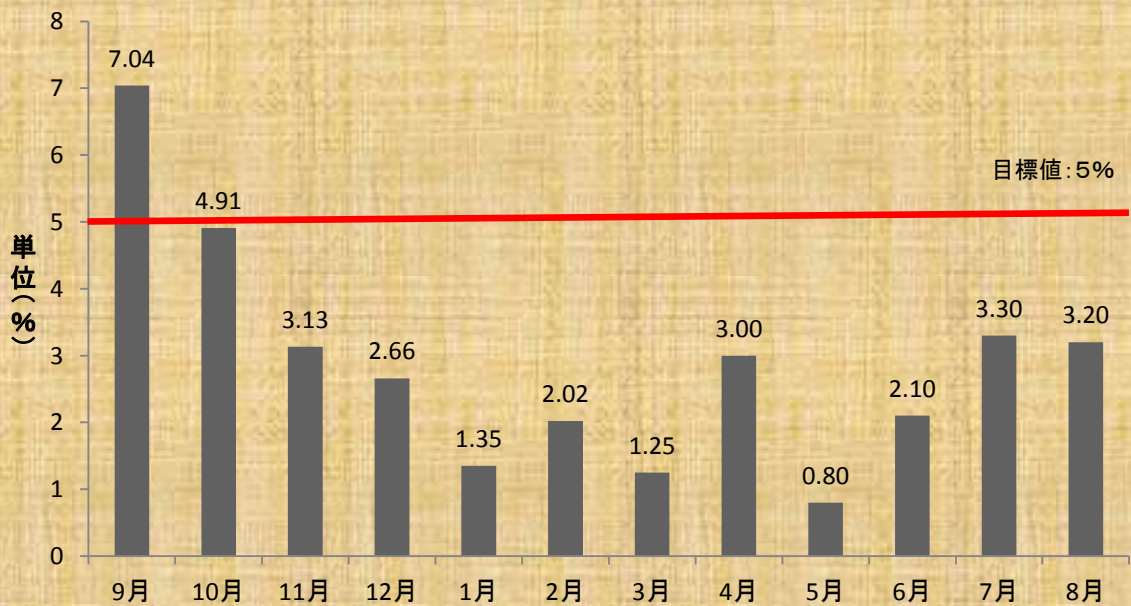
グラフ1：月ごとの一般ごみ量

単位：トン

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成23年度	799	887	828	885	1,013	805	813	815	851	874	755	827	10,152
平成24年度	838	868	815	928	984	741	751	701	709	755	619	709	9,418
平成25年度	747	743	652	829	811	-	-	-	-	-	-	-	-

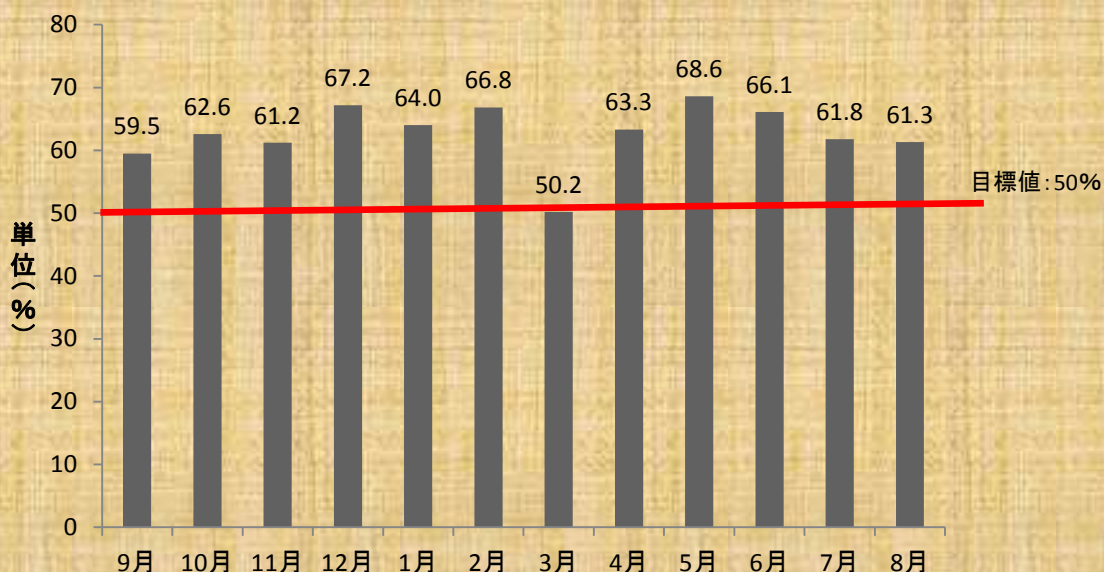
表1：月ごとの一般ごみ量

平成24年9月から平成25年8月までの一般ごみのプラスチック混入率 (ビニール袋を除く)



グラフ2：一般ごみのプラスチック混入率(ビニール袋を除く)の推移

平成24年9月から平成25年8月までの一般ごみに含まれる水分率



グラフ3：一般ごみに含まれる水分率の推移

市民の皆さん、
ご理解・ご協力
ありがとうございます！

一般ごみ 1年間で13.8%削減！
プラスチック混入率11カ月連続5%以内！

グラフ1と表1は、平成23年4月から平成25年8月までの一般ごみの排出量の推移です。

『ごみダイエット大作戦』に取り組み始めた平成24年9月から平成25年8月までの1年間の一般ごみの排出量は、平成23年9月から平成24年8月までの1年間の一般ごみの排出量に比べて、1,406トン減少し、削減率は13.8%でした。

また、グラフ2は平成24年9月から平成25年8月までの一般ごみに含まれるビニール袋を除いたプラスチックの混入率です。平成24年10月以降は目標値である5%を下回っています。一般ごみの減量及びプラスチックの混入率の低下については、平成24年9月から実施してきた『ごみダイエット大作戦』の効果が表れています。

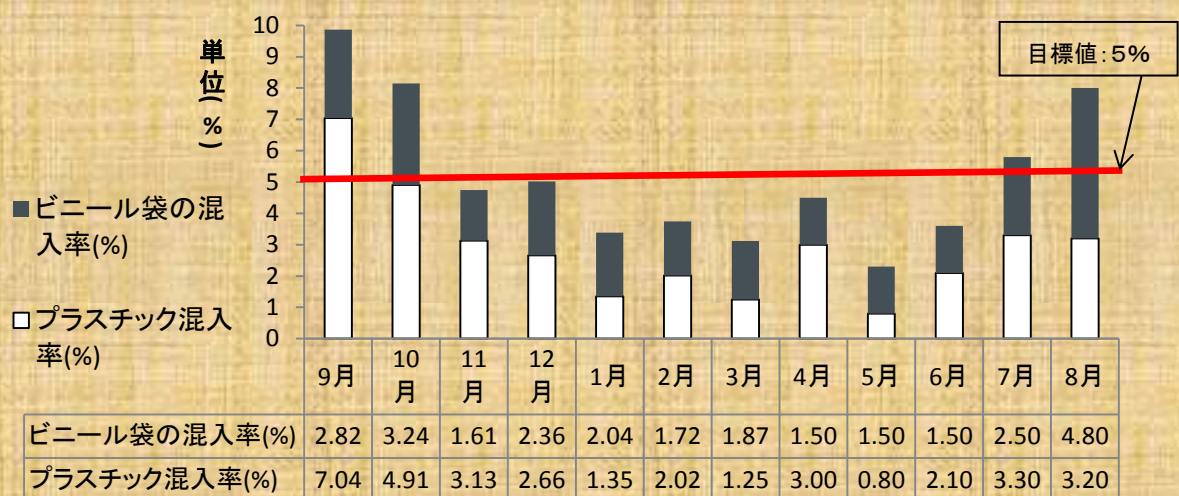
グラフ3は、平成24年9月から平成25年8月までの一般ごみに含まれる水分率ですが、目標としている50%を下回ったことはありません。

『ごみダイエット大作戦』の大きな課題、それは『一般ごみに含まれる水分率を下げること。』です。

ごみダイエット大作戦

～プラスチック混入率のさらなる低減に向けて～

平成24年9月から平成25年8月までの一般ごみへの
プラスチック及びビニール袋の混入率



グラフ4：一般ごみのプラスチック及びビニール袋混入率の推移

グラフ2の通り、一般ごみへのビニール袋を除いたプラスチック混入率は、平成24年10月に初めて5%を切って以来、平成25年8月まで、目標の5%以内を達成し続けています。

このことから、ごみダイエット大作戦を次の段階へ移行し、一般ごみへのプラスチック類混入に関する目標を「プラスチックの混入率5%以下」から「プラスチックとビニール袋の混入率を合わせて5%以下」にステップアップします。

平成25年8月は、ビニール袋の混入率がそれまでと比較して大きく増加しています。この原因として考えられるのは、一般ごみを二重袋で出したり、小さい袋で小分けにして出したりといった要因があります。これらを避けていただき、プラスチックとビニール袋の混入率を合わせても5%以下を継続できるように取り組みましょう。

一般ごみの水分率が高いとどうなるか！

★一般ごみに含まれる水分

三浦市の一般ごみのうち、約4割が『生ごみ』であり、その重量の約8割が水分です。平成24年度には、三浦市内から約9,400トンの一般ごみが集められたことから、およそ3,000トンが水分ということになります。

★三浦市の一般ごみの水分率

三浦市の一般ごみに含まれる水分の割合は、平均64%（平成25年4月から8月までの平均値）であり、神奈川県下の平均の48%（平成23年度）と比べ、高い値となっています。

★一般ごみの水分率が高いと、どのような影響があるの？

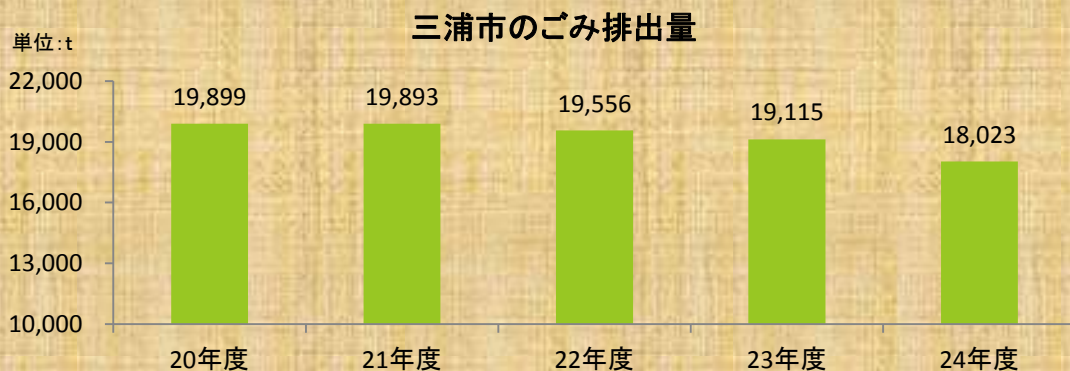
水分率が高いと、横須賀市の焼却施設への運搬時の悪臭の発生、水分による焼却施設への弊害、さらにその水分量だけごみ処理費用が多くかかることとなります。

三浦市からどんなごみがどのくらい出るの、費用はどのくらいかかるの？

★三浦市のごみは、全体でどのくらい出ているの？

三浦市では、平成24年度に約1万8千トンのごみ排出され、市民1人1日当たりの排出量は約1,047gになります。

県内の平均930g（平成23年度）と比べると高い排出量となっています。

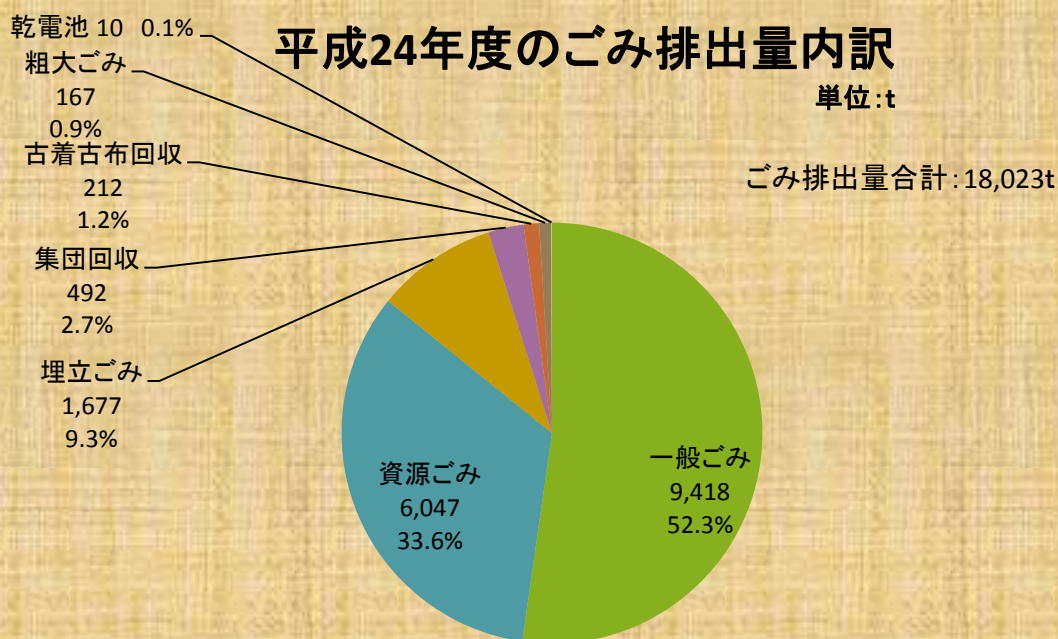


ここで、「ごみ排出量」とは、市が収集したり、市の施設に搬入されたごみの合計量と資源物の集団回収量をあわせた量を指します。

グラフ5：三浦市のごみ排出量

★三浦市のごみはどんなごみが多いの？

三浦市のごみは、一般ごみが一番多く、平成24年度全体の52パーセントを占めています。続いてびん、缶、新聞などの資源物が34パーセント、次いで埋立ごみの9パーセントとなっています。



グラフ6：三浦市のごみ排出量内訳

★ごみ処理にかかる費用はどのくらいなの？

ごみ処理費用は、平成23年度で約8億円かかっており、このうち一般ごみの焼却処理費用が約2億3千万円を占め、ごみ処理費用の約30%が焼却処理費用となっています。

市民1人あたりのごみ処理費用は、年間約16,787円であり、県平均の11,512円（平成23年度）と比べると高額になっています。



全体ごみ量の半分が一般ごみなので、一般ごみを工夫し減量することで費用も減らせますね！

私たちがすべきこと。それは、



ごみを減らすこと！

★1) 生ごみの水切りを徹底する。

ポイント1 水に濡らさない！(はじめよう)

玉ねぎの皮などの「野菜くず」や「使用済みティッシュ」は、水に濡らさないように、生ごみに混ぜずに、直接ごみ箱等に入れましょう！

ポイント2 生ごみを絞る！(続けよう)

水切りネットを使うだけで約10%水分を減らすことができます。さらに、手でギュッと絞ってから捨てる習慣をつけましょう。ゴム手袋を使えば抵抗なくできます。素手の場合は空のペットボトル等で押し込んで水を切りましょう。

ポイント3 乾かしてから捨てる！(さらにひと手間)

お茶がらやティーバッグは乾燥させることで約80%減量できます。三角コーナー等の生ごみは、ネットやザルに入れるなどして天日干しにしましょう！

★2) 「3つのすぎない」の実施。

ポイント1 買いすぎない！

日頃から、冷蔵庫や床下収納庫等の整理整頓を行い、在庫を確認し、買い物に出掛けることで、無駄な食材の購入や消費期限切れによる廃棄処分の発生をなくしましょう。

ポイント2 作りすぎない！

食事の食べ残しや食材の使い残しが多ければ多いほど生ごみが多くなってしまいます。人数や食べる量、時には調理方法等も工夫しながら、作りすぎてしまっ捨てることのないようにしましょう。

ポイント3 もらいすぎない！

レジ袋や商品の過剰包装はごみの増加につながります。マイバッグを持参し、レジ袋の削減に努めましょう。また、必要以上の包装は断るようにしましょう。

★3)『3つのR』に取り組んで、ごみを減らそう！

“もったいない”を合い言葉に環境にやさしい暮らしをおくるため、次の『3つのR』に取り組みましょう。

ポイント1 Reduce(リデュース)・・・「減らす」

リデュースとは、「必要以上に買わない」「物を大切に使う」「もらわない」等により、ごみの発生を抑制することです。『3つのすぎない』の取り組みやものを大切に扱い、長期間使用することを心掛けましょう。3つRの中で一番大切な取り組みです。

ポイント2 Reuse(リユース)・・・「再使用」

リユースとは、使えるものは繰り返し最後まで使うことです。食材を捨てる前に他のメニューとして使えないか工夫してみたり、日用品や調味料等購入の際に詰替ができる商品を選びましょう。また、使わなくなったものを捨てる前に修理したり欲しい人に譲って使ってもらいましょう。

ポイント3 Recycle(リサイクル)・・・「再生利用」

リサイクルとは、不要になった物を資源として再び利用することです。現在、資源物として回収している「びん」「缶」「金物」「ペットボトル」「プラスチック製容器包装」「紙製容器包装」「新聞」「雑誌」「ダンボール」「紙パック」「ミックスペーパー」「枝木草葉類」について、さらに適正分別を行い資源物回収率を高めましょう。

★4)ごみ出しのルールを守ろう！

美しいまち“みうら”のまちづくりを進めるため、ごみステーション付近の方や通行される方の迷惑とならないよう、ごみ出しのルールを守りましょう。

ポイント1 プラスチック混入は絶対にやめましょう。

一般ごみの焼却をお願いしている横須賀市の焼却施設はプラスチックを焼却する施設ではありません。混入することにより横須賀市の皆様にご迷惑をかけることになり、さらには受入が拒否される状況にもなりかねません。しっかり分別を行った上で出しましょう。

ポイント2 生ごみの水切りを徹底しましょう。

一般ごみ中の「生ごみ」の水切りが十分にできていないと、ごみステーションの悪臭や害虫発生の原因、また収集時に汚水が飛び散り収集場所や道路を汚してしまいます。みなさんが利用する収集場所を清潔に保つためにも、生ごみの水切りを徹底しましょう。

ポイント3 ごみは適正に分別して出しましょう。

限られた資源を有効に活用し、環境負荷の少ない持続可能な循環型社会を構築するためには、廃棄物の発生を抑制し、資源として活用できるものは最大限活用することが重要です。私たちがごみとして排出するものには、資源となるものやまだ使うことができるものがたくさんあります。もう一度、きちんと分別すれば再利用できるものが多く、ごみ処理にかかる費用や温室効果ガスの削減につながります。ルールを守り適正な分別に努めましょう。

ポイント4 収集日当日の朝8時30分までにしましょう。

収集後にごみを出される方がいますが、結果として次の収集日まで取り残されることとなります。ごみを出す前にもう一度曜日を確認し、朝8時30分までにしましょう。また前夜から未明にかけて出されると、野良猫やカラスが袋を破ったりしてごみが散乱するおそれがありますのでおやめ下さい。

ポイント5 決められた袋、決められた方法で出しましょう。

三浦市は、中身の確認ができる透明な袋を使ってごみを出していただくようお願いしています。色の付いた袋を使用すると、中身の確認ができません。

また、一般ごみを二重袋で出した場合、結果として『プラスチック製容器包装』が混入することになりますので、過剰な袋の使用はやめましょう。

ポイント6 ごみステーションの維持管理は地域の方々です。

ごみステーションの新設、移動、廃止については地域の皆さんで相談していただいた上で、市へ協議をお願いしています。設置後のごみステーションの維持管理は、その地域の皆さんが協力して行ってください。ごみステーションは、そこを利用する皆さまの自主的な管理で維持されています。他の地域の方が通りすがりのごみステーションに出すことはできません。

ポイント7 事業者は、次の方法でごみを処理してください。

事業系一般廃棄物进行处理する場合、その量が1日平均10キログラム未満の排出事業者に限り指定袋、指定シールを使い、利用したいごみステーションのルールに従い事業系一般廃棄物を出すことができます。指定袋等を用いない方法でごみステーションに出すことはできません。

事業者も「3つのR」に取り組もう！

事業者のみなさんも「3つのR」に取り組んで、ごみを減らしましょう。

ポイント1 Reduce(リデュース)…「減らす」

- 事務用品は詰め替え用品を使用しましょう。
- お茶やコーヒーの紙コップは使用せずに湯呑みなどを使いましょう。
- 生ごみは出す前に水切りに努めましょう。

ポイント2 Reuse(リユース)…「再使用」

- コピー用紙は両面を使いましょう。
- 使用済みの封筒も可能な限り再利用しましょう。
- 商品納入の際には繰り返し使えるプラスチック製の「通い箱」を活用しましょう。

ポイント3 Recycle(リサイクル)…「再生利用」

- 紙は種類ごとに分けましょう
- トナーカートリッジやインクカートリッジはメーカー回収し、リサイクルに努めましょう。
- 食品トレイやびん、缶などリサイクル回収ボックスを設けましょう。
- 再生品を積極的に活用しましょう。

はじめよう！ごみダイエット大作戦

ごみの減量化・資源化を推進するためには、市民1人1人のご協力が必要不可欠です。

三浦市のごみの現状をご理解いただき、みなさんで『ごみダイエット大作戦』に取り組みましょう。



市民1人1人が意識し協力することが、大事なんですね！

ごみ処理施設を見学できます

お友達やグループで三浦市のごみ処理施設（清掃事業所、環境センター）の見学ができます。

平成24年度は、三浦の次世代を担う子供たちに環境教育の一環として、ごみ処理施設を見学してもらったり、中学生には職場体験としてごみ処理工程の一部をお手伝いしていただいたりしました。ごみについて知る良い機会ではないかと思っています。これからも、皆さんの参加をお待ちしています。

見学には事前の申し込みが必要です。

問い合わせ先	清掃事業所	046-881-6228
	環境センター	046-881-7171

発行：神奈川県三浦市 都市環境部 廃棄物対策課
神奈川県三浦市城山町1番1号 TEL046-882-1111(内線 291・295・299)
URL：<http://www.city.miura.kanagawa.jp/>

このパンフレットは、上記三浦市ホームページ内
「環境・ごみ・リサイクル」のページにもアップロードしています。

三浦市ごみリサイクル

検索